

令和5年度沖縄空手会館指定管理者制度運用委員会

－指定管理者制度モニタリング検証結果－

1 日 時：令和5年7月27日（木）14時00分～16時00分

2 場 所：沖縄県庁本庁舎 会議室

3 出席者：4人出席（定員4人）

【委員長】沖縄空手研究所 所長 嘉手苺 徹

【委員】元沖縄県立博物館・美術館館長 安里 進

【委員】税理士法人添石総合会計事務所副所長 添石 理佐

【委員】公益社団法人沖縄県建築士会副会長 伊佐 強

4 審議概要：

(1) 令和4年度モニタリング実施結果

(2) 審議の流れ：①県からモニタリング実施結果の説明及び委員からの質疑応答

②県に対する委員からの改善提案等

5 モニタリング実施結果の概要：

① 維持管理業務（清掃、保守点検等）は適切に実施されている。引き続き、安全・安心に利用できるよう施設の適切な維持管理に努める。

② 運營業務については、感染症対策のガイドラインの変化に柔軟に対応し、施設利用の活発化、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。

自主事業（レストラン・売店事業など）については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組む。

③ サービスの質の評価について、アンケート結果によると自主事業であるレストランを利用した満足度が前年度比で10%高い評価を得た。設備・備品の充実度、さらには自主事業の活性化など、利用者の要望を踏まえた改善を図り、利便性の向上に取り組む。引き続き、アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。

④ サービスの安定性評価（財務状況）については、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の悪化を伴う光熱水費の高騰の影響がある中で赤字が出た。しかし、その状況を除けば自主事業の活発化や施設利用料金の調整など、収支改善に努めており、事業収入としては前年度より大幅に改善した。今後も事業全体として収支均衡に向けた取組を図り、収支改善に努める。

6 委員からの主な意見：

・空手会館のデータについて、コロナ前の水準に戻っているのか確認したい。前年度分だけでな

- く、コロナウイルス感染症拡大以前のデータを出して欲しい。
- 空手会館はとても清々しい場所で開放感がある。
 - 空手会館施設の利用について、企業などにも周知すると良い。
 - 展示資料室前の空手家と記念撮影ができるエリアについて、レストランのテーブルが置かれており、来館者の撮影に支障を来している。セッティングを工夫した方が良い。
 - 施設利用について、空手関連のイベントかそれ以外なのか統計を出して欲しい。
 - 施設のメンテナンスといった長期的な修繕計画を作成した方が良い。
 - 学芸員の配置が無いのであれば、博物館の学芸員と調整して、展示室や収蔵庫の点検・視察を行ってもらおうシステムを入れてはどうか。
 - 催事等の宣伝について、近隣施設である工芸の杜と連携してはどうか。